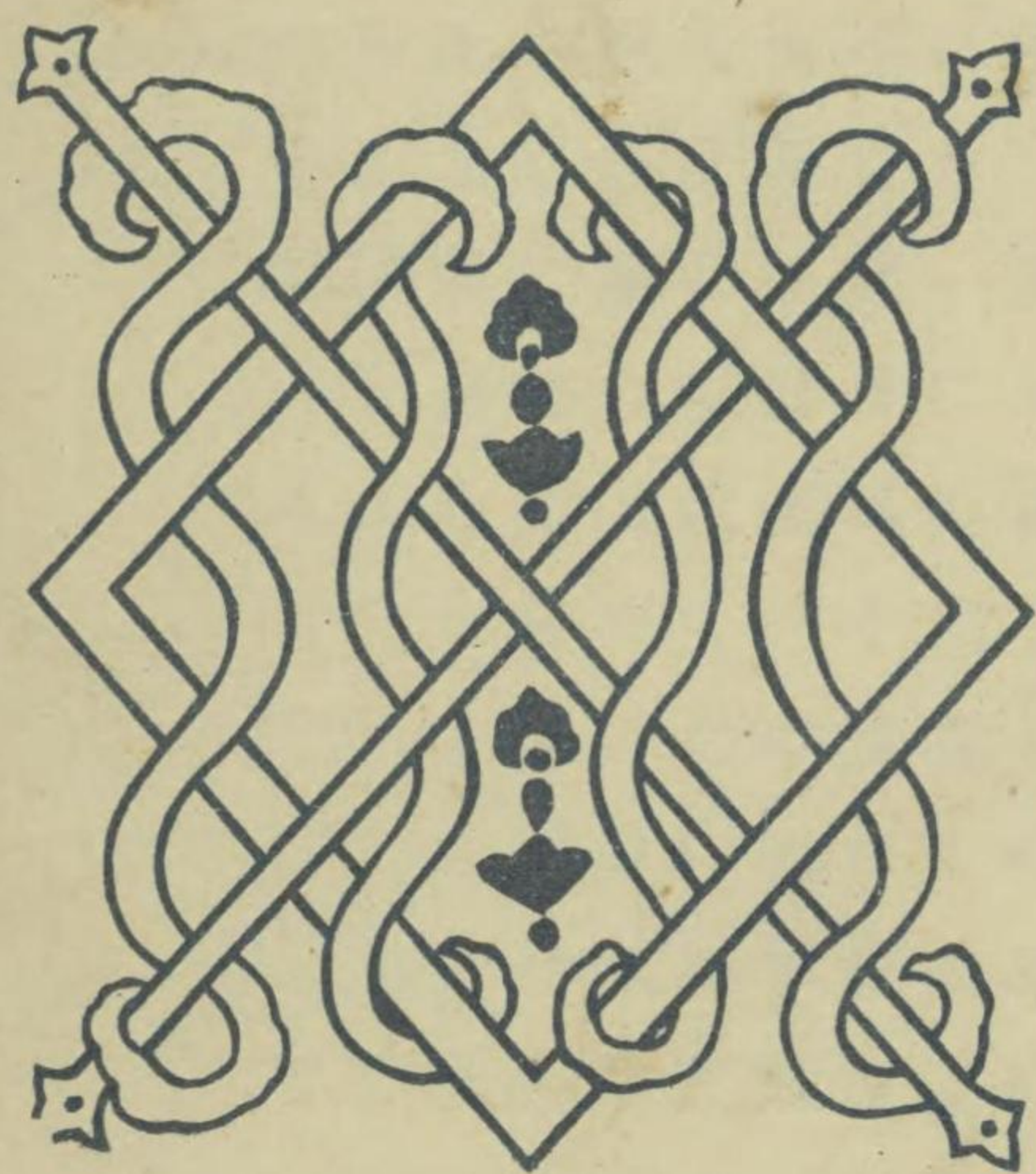


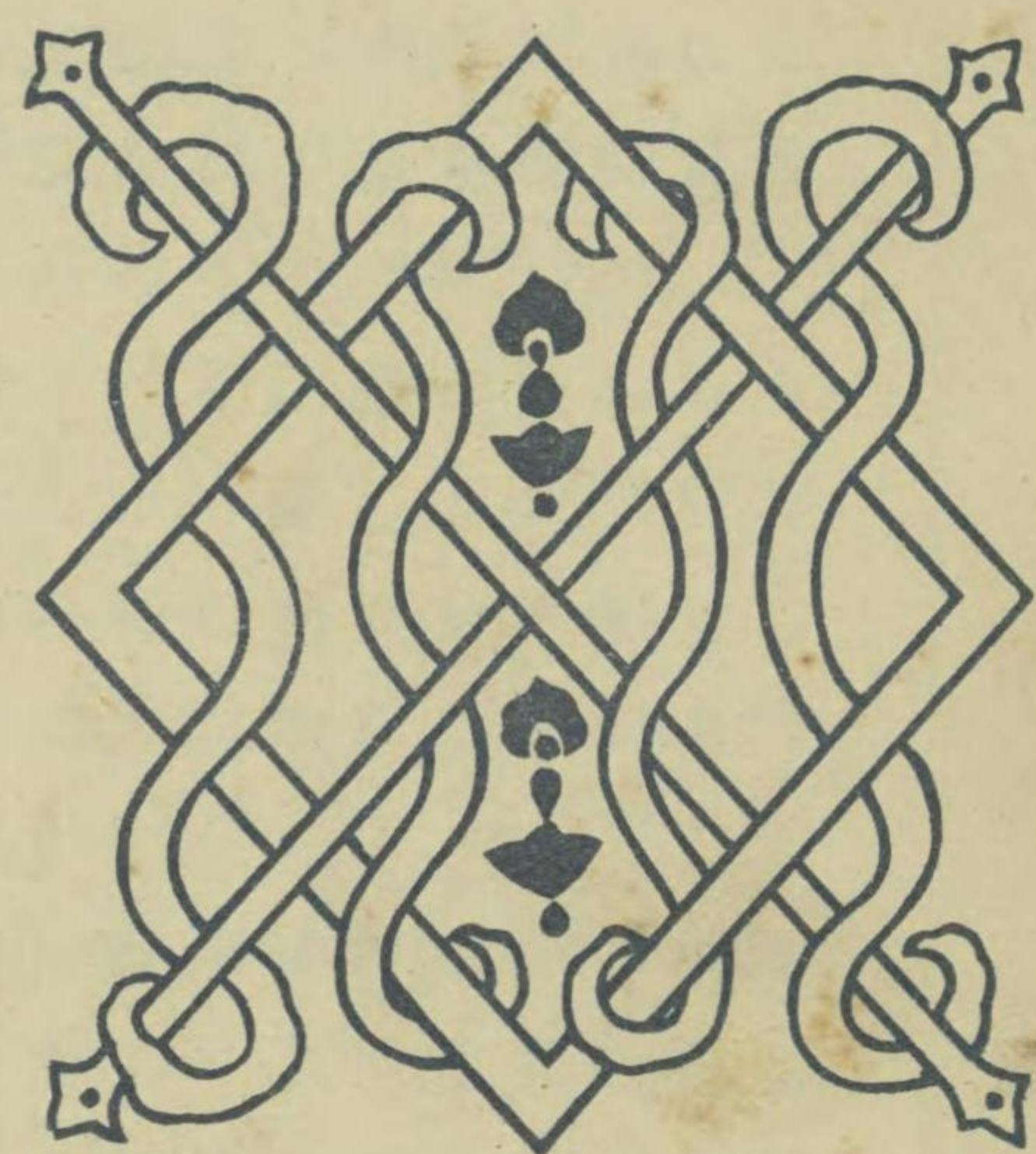
Collection of Songs for  
Primary Schools and Homes.

# 童謠唱歌名曲全集

田村虎藏・福井直秋・小松耕輔・共編



第八卷



東京 文社 刊行

EDITION · KYOBUNSHA · TOKYO

# 12. 春の野

Adagio sostenuto [♩=104]

犬童球溪 歌曲  
山本正夫 曲

The piano introduction is in 4/4 time with a key signature of three sharps (F#, C#, G#). It features a melody in the right hand and a rhythmic accompaniment in the left hand. The tempo is Adagio sostenuto at 104 beats per minute. Dynamics range from mezzo-piano (mp) to mezzo-forte (mf).

The vocal entry begins with two lines of lyrics. The piano accompaniment continues with a steady eighth-note pattern in the left hand and chords in the right hand.

1. ス ミ レ カ フ ル ハ ル - ノ  
2. れ ん げ さ け る を た - の

The vocal line continues with the following lyrics. The piano accompaniment remains consistent with the previous section.

ノ ム フ ワ - カ ナ - ツ - - ミ テ  
あ ぜ を し ょ う - - か - う - - た ひ

This block shows the continuation of the musical score on the right page, including vocal lines and piano accompaniment.

犬童球溪歌  
山本正夫曲

ハ  
を

ル - ノ  
た - の

ツ  
う

- - ミ テ  
- - た ひ

ト  
と

モ - ト - ユ ケ - ハ  
も - と - ヨ ケ - は

カ  
か

ス - ム -  
を - る -

ソ  
か

- ラ ニ - ウ - - タ フ ヒ  
- せ に - を - - ど る こ

ハ - リ  
てふ - -

チ - ヨ チ - ヨ チ - ヨ チ - ヨ - チ  
ひ - ら ひ - ら ひ - ら ひ - ら - ひ

ヨ チ ヨ  
ら ひ ら

一 ひよこ

島木赤彦歌  
小田島樹人曲

一 ひよこ ひよこ  
お前のからだは 草より低い  
草にかくれて びよ〜歩く。

二 ひよこ ひよこ  
お前の趾は 草より稚い  
草の芽をふんで びよ〜歩く。

三 ひよこ ひよこ  
お前の眼は 露より涼しい  
露をす〜つて びよ〜歩く。

四 ひよこ ひよこ  
お前の心は 親よりやさし  
親によばれて びよ〜歩く。

五 ひよこ ひよこ  
お前の寝床は 綿より温い  
親のお腹へ びよ〜入る。

二 親子鶏

林柳波歌  
本居長世曲

一 親鶏お先へ コッコッコ  
子鶏はあとから ビビビ  
たべもの探しに 出かけます。

二 親鶏大聲 コッコッコ  
子鶏があつまる ビビビ  
たべもの見つけて たべてます。

三 親鶏子鶏を 見てみます  
子鶏はそこらを かけてます  
ほんとに仲よし 親子鶏。

三 さくら

久保田宵二歌  
杉本秀治曲

一 風もないのに 桜の花が  
散るよ〜 チララ ハラハラ。

二 庭にお池に おさしきまでも  
散るよ〜 チララ ハラハラ。

三 赤い花びら 桜の花よ

散れよ〜 チララ ハラハラ。

四 雲雀

草川信一歌  
信川信一歌

一 空高く青にまぎれて鳴く小鳥  
雲雀の鳴きて春立つらしも。

二 群立てる樹々の梢に春日照り  
青にまぎれて雲雀の鳴くも。

三 芽ぶきたる樹々の梢に深々と  
空のさ青のしたゝるらしも。

五 花吹雪

山中雨紅歌  
山本正夫曲

一 庭一面に 咲いてた櫻  
ひらひらひらひら 散るよ散るよ  
頭に肩に體を埋め 見事に散るよ

二 霞のやうに 咲いてた櫻  
ちらちらちらちら 散るよ散るよ  
野原に山に一面白く 見事に散るよ

ああ 花吹雪 美しや。

六 木蓮

河内武雄歌  
河村直則曲

一 春は四月は 木蓮の  
白い香に 日が暮れる。

二 一ひらほろ〜 木蓮の  
花のどこかで 鳩が啼く。

三 二ひら三ひらと 木蓮は  
風もないのに 花が散る。

四 花は小鳩は 日の暮れの  
お寺の鐘に みな眠る。

七 春の日

西條八十歌  
成田爲三曲

一 行つたり来たり 昨日も今日も  
山の上を 白い雲が。

二 行つたり来たり 昔のまゝの  
お室の時計 さびた振子。

三 行つたり来たり 窓の下は  
花の祭り 馬車と人が。

四 行つたり来たり 春の日かげの  
母なき窓を 小さい風が。

八 春のお使ひ

田中忠正歌  
黒澤隆朝曲

一 春のお使ひ 小鳥さん  
霞のかけに うたのこゑ  
ビイチク〜 ビイチクチ  
ビイチク〜 ビイチクチ。

二 春のお使ひ お月さん  
朧お月さん ねむさうな  
こつくり〜 こつくりこ  
こつくり〜 こつくりこ。

三 春のお使ひ 山水さん  
水解かして 水ぐるま  
ゴットン〜 ゴットントン  
ゴットン〜 ゴットントン。

四 春のお使ひ 土筆さん  
お袴はいて 丘のうへ  
つんつく〜 つんつくつん  
つんつく〜 つんつくつん。

五 春のお使ひ 緋桃さん  
可愛い蕾は ふくらんで  
マアツカ〜 マツカツカ  
マアツカ〜 マツカツカ。

九 たんぼぼ

久保田宵二歌  
杉本秀治曲

一 たんぼぼ〜 ふつと吹かう  
吹いたら ふいたら とんでつた  
風もないのに とんでつた  
ふわり〜と とんでつた。

二 あれ〜たんぼぼ とんでいく

白い笠着た 三十人  
たんぼを越えて またこえて  
うれしうれしと とんでいく。

一〇 春の踊り

竹久夢二歌  
瀬戸口藤吉曲

一 とんとるお月さん 春の月  
たらんたらん たらんたらんたらん  
白い兎が 出てはねる  
たらんたらん たらんたらんたらん。

二 白い指がよ キーのうへ  
たらんたらん たらんたらんたらん  
さつさをどろよ てあてあて  
たらんたらん たらんたらんたらん。

一一 残りの花

八波則吉閑歌  
平岡均之曲

一 花の雲かと 見まがひしは  
昨日の夢か 青き葉かけ  
つれなく残る うす櫻の  
ちるよ眺むる 人もなきに。

二 たそがれ時の しづやかさに  
夕月かゝる 梢みれば  
過ぎにし名残 色にみせて  
ちるよさみし 風もなきに。

一二 春の野

犬童球溪歌  
山本正夫曲

一 草かをる 春の野べを  
若菜摘みて 友と行けば  
かすむ空に うたふひばり  
チヨ チヨ チヨ……………

二 蓮華咲ける 小田の畦を  
唱歌うたひ 友と行けば  
かをる風に 踊る胡蝶  
ヒラ ヒラ……………

一三 動物園のお猿

佐野正明歌  
長谷山峻彦曲

動物園のお猿は 親猿子猿  
あれ〜ぶらんこ してゐるよ

一六 飛ばない小鳩

濱田廣介歌  
宮原禎次曲

競ひて燃ゆる あゝあのかげ  
かげろふ かげろふ。

小鳥のやうな 笑ひごゑ  
白いつつけを 置いたまゝ  
金紗の羽織が 寂しさう  
赤い鼻緒の あたらしい  
空草履も 待つてるに

かしこにさゞめく 聲するは  
草摘みあそぶ 人の群。  
二 大空ひろく 晴れ渡り  
そよ吹く風も 暖かし

昭和七年五月廿七日印刷  
昭和七年五月廿七日發行

◇豫約出版◇ 童謡唱歌名曲全集

第八卷・豫約價 金貳圓八拾錢



編纂者 田村 虎藏  
東京市牛込區築土八幡町三一

編纂者 福井 直秋  
東京市外長崎町荒井一八八四

編纂者 小松 耕輔  
東京市外杉並町阿佐ヶ谷四八五

發行者 鈴木 芾  
東京市神田區淡路町二ノ二

印刷者 東京市芝區金杉新濱町一二  
單式印刷株式會社  
代表者 和田 助一

發行所

東京市神田區淡路町二ノ二  
振替口座東京八三三六番

京文社

電話神田(25) 三三九〇番  
三三九二番